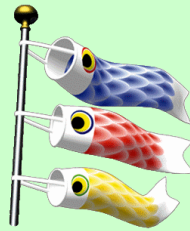




風と心



発行 岩手県立胆沢病院
編集 広報委員会

〒023-0864
岩手県奥州市水沢 字龍ヶ馬場61
TEL 0197-24-4121
FAX 0197-24-8194



— 新年度のごあいさつ —

院長 勝又 宇一郎

病院長就任から4年目になります。院長就任時から一貫して、地域住民が安心して暮らせるような「当医療圏における医療資源の有機的なネットワーク作り」を大きな目標のひとつに掲げてきました。その実現のためには、各医療機関間の「連携」が鍵と考えます。病病連携、病診連携、さらに歯科・薬科・介護・行政などとの連携、また病院以外のそれぞれの機関同士間の連携、何よりも顔の見える関係作りをさらに加速させて行きたいと思っています。県立・市立・私立といった枠にとらわれずに、また急性期・回復期・慢性期といった病気から、住民の生活・未病までも守備範囲とした、この医療圏全体を見渡すことのできる大きな仕組みを作ることが私の夢です。実際に実現した最近のひとつの具体例ですが、昨年度、医科歯科連携の新しいシステムを作り、これまでの10倍以上という紹介件数の大幅な実績アップを達成しました。当院のスタッフ並びに関係各位の皆さまのご協力に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

この先のone decadeの中で、「連携・役割分担」に続く次なるキーワードは「選択と集中」であろうと考えています。当地域のもう何年も前から課題である、周産期医療・小児医療の危機はいよいよ切羽詰まってきています。なかなか先の見えない戦いではありますが、地元医師会や行政とも手を携えて、へこたれずに、決してあきらめずに希望を持って地域住民のために挑戦を続けていく所存です。この課題は何としても解決しなければなりません。次の世代、子供たちに決して不幸な思いをさせないように、みんなで知恵を出し合ってなんとかせねばならないでしょう。

昨年の秋から当院で「物忘れ外来」を始めました。超高齢化社会がきます（もう来ている？）。治す医療から病気をかかえながらもみんなと一緒に楽しく暮らせる医療へのパラダイムシフトが必要です。「この頃、物忘れして困ったやぁ」というような患者さんがいましたら、どうぞどしどしご紹介いただけたとうれしいです。認知症対策も地域医療の切実な課題のひとつと考えています。当院としても認知症に関しては特に力を入れる必要があると感じています。

「誇りを持てる職場」、「人を育てる病院」をスローガンに掲げて、今年度も職員一丸となり、地域医療を守るべく精一杯の努力をしていきたいと思っております。皆さまからの応援・ご協力を引き続き、よろしくお願い申し上げます。

岩手県立胆沢病院の基本理念

<基本理念>

私たちは、地域の人々の健康と命を守るため、愛を持って地域医療に貢献します。

<行動指針>

- 1) 患者さんと家族、私たちとの協働医療（専門性を結集した多職種による、患者参加型のチーム医療）
- 2) 患者さんの背景・価値観に配慮した医療
- 3) 患者さんが安心できる、良質で安全な医療
- 4) 地域の医療・福祉・行政との連携と機能分担
- 5) 次の世代を担う優れた医療人の育成

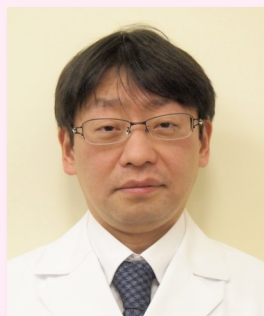
<病院運営方針>

- 1) 救急医療を含む急性期医療
胆江保健医療圏の基幹病院として、24時間対応の救急医療など、圏域の急性期医療、高度・専門医療を担います。
- 2) がん医療
地域がん診療連携拠点病院として、手術・化学療法・放射線治療・緩和ケアなど専門的ながん医療の提供や、がん患者に対する相談支援・情報提供を行います。
- 3) 地域医療支援
地域医療支援病院として、紹介・逆紹介の推進、地域医療機関との共同診療、地域の医療従事者・地域住民に対する研修・教育を行います。
- 4) 災害医療
地域災害拠点病院として、災害時の傷病者の受入れや地域医療機関への支援、DMATチームの派遣を行います。
- 5) 臨床研修、スタッフ教育
臨床研修指定病院・各種学会認定研修施設として、次の世代を担う医療従事者を育成するとともに、病院スタッフの研鑽に努めます。

上記5項目の実践・充実のため、誇りを持てる職場づくりと健全な病院運営に努めます。

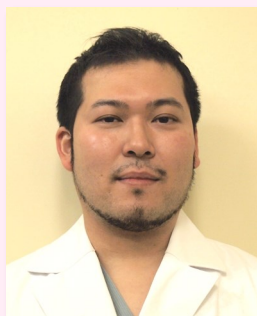
新 任 医 師 の 紹 介

- ① 職名
- ② 専門分野
- ③ 趣味
- ④ ひとこと



はしもと わねたか
橋本 宗敬

- ① 血管外科長
- ② 血管外科
- ③
- ④ よろしく申し上げます。



いづつ ひろと
井筒 大人

- ① 循環器内科医長
- ② 循環器一般、
虚血性心疾患
- ③ ゴルフを勉強します
- ④ 患者さんや地域の皆さ
んの利益のために、精一
杯がんばります。



しもやま ゆうすけ
下山 雄丞

- ① 消化器内科医長
- ② 消化器内科
- ③ 筋トレ
- ④ 地域医療のため精一杯
がんばって参ります。



すずき ひろとし
鈴木 寛利

- ① 呼吸器外科医長
- ② 呼吸器外科全般
- ③ 野球、絵画鑑賞
- ④ 県南地区の方々のため
に頑張ります。どうぞよ
ろしく申し上げます。



ちば ひろふみ
千葉 宏文

- ① 消化器内科医長
- ② 下部消化管疾患
- ③ 野球・ドローン
- ④ 炎症性腸疾患などの
下部消化管疾患が専門
です。よろしくお願ひし
ます。



おいかわ りゅうのすけ
及川 龍之介

- ① 整形外科医長
- ② 膝・スポーツ
- ③
- ④ よろしくお願ひ致します。



さ さ わたる
佐々 航

- ① 整形外科医長
- ② 整形外科、一般外傷
- ③ バスケットボール、
登山、映画鑑賞
- ④ 整形外科医として、
日々勉強し、地域の方々
に貢献していきたいと思
います。



くきもと たかし
久木元 隆

- ① 医師(泌尿器科)
- ② 泌尿器科
- ③ テニス、将棋
- ④ 微力を尽くします。

一年次臨床研修医の紹介

よろしくお願いします！

- ① 出身大学
- ② 志望分野
- ③ 趣味
- ④ ひとこと



さいとう みゆ
齊藤 美有

- ① 岩手医科大学
- ② 消化器内科
- ③ ご当地キューピー・食玩集め
- ④ 生まれ育った岩手で働けることを嬉しく思います。笑顔でがんばります。



やまもと はるか
山本 悠

- ① 岩手医科大学
- ② 眼科、皮膚科
- ③ ショッピング
- ④ 明るく元気にお仕事したいと思っています。ご指導の方、どうぞよろしくお願い致します。



いわさき ちかし
岩崎 史

- ① 東北大学
- ② 外科
- ③ 将棋、サッカー観戦、動画鑑賞
- ④ 毎日を大切に、精一杯頑張ります。よろしくお願いします。



おがさわら こうや
小笠原 光矢

- ① 秋田大学
- ② 内科
- ③ テニス、温泉旅行
- ④ 岩手県、特に奥州市のために精一杯がんばります！よろしくお願いします！



あんど としひこ
安藤 聡彦

- ① 岩手医科大学
- ② 脳神経外科
- ③ 登山、サイクリング
- ④ 岩手の医療を担えるよう日々精進を重ねて参ります。御指導のほどよろしくお願い致します。



しみず じゅん
清水 潤

- ① 岩手医科大学
- ② 未定（内科系）
- ③ 旅行、温泉
- ④ 仙台出身です。できる限り精一杯頑張ります。よろしくお願いします。



むらかみ あきひこ
村上 皓彦

- ① 獨協医科大学
- ② 循環器
- ③ ゴルフ
- ④ 明るく、周囲の方々から信頼されるような医師を目指して研修に取り組みたいと思います。よろしくお願いします。

お世話になりました



医師退職・転出のお知らせ

平成30年3月末

【退職】

藤野 浩太郎 整形外科医長
中島 志織 泌尿器科医長
水口 康彦 医師（消化器内科）
宮 一雄 医師（整形外科）
長野 裕充 医師（呼吸器外科）
山内 拓郎 医師（外科）

小島 香 医師（循環器内科）
内藤 健夫 臨時医師（消化器内科）
大熊 崇生 臨床研修医
新居 正季子 臨床研修医
大西 憲一 臨床研修医

【転出】

白木 健悠 消化器内科医長（岩手県立中央病院へ）



平成30年度 第1回「医療情報コーナー」イベント開催のお知らせ

当院では、がんやその他の情報について知ることができる場所として「医療情報コーナー」を設けています。医療情報コーナーでは毎月1回講演会や勉強会などのイベントを開いており、下記のとおり講演会を開催いたしますので、お気軽にご参加ください。（参加費無料、申込不要です）

日時 平成30年5月22日(火) 18:00～19:00

場所 胆沢病院玄関ホール

テーマ がん治療について(手術・放射線治療・化学療法)

講演内容 ①がん治療にかかる手術について	副院長兼第1外科長 鈴木 雄
②がん治療にかかる放射線治療について	副院長兼放射線科長 中村 正人
③がん治療にかかる化学療法について	主査薬剤師 村上 正美

奥州スマートインターチェンジ開通

4月21日(土)「奥州スマートインターチェンジ」が開通しました。胆沢病院まで直線距離で約1.5km、当院に一番近いインターチェンジです。奥州スマートインターチェンジを利用する際は注意点があります。

1つはETC専用のインターチェンジであるため、ETC車載器が無い自動車は通行できないことです。また、出入口の開閉バーは一旦停止しなければ開きません(通常のインターチェンジのETCレーンのように20km/h以下で通過することはできません)。もう1つは、上り線(仙台方面)と下り線(盛岡方面)それぞれの専用出入口が大きく離れたインターチェンジであるため間違わないよう注意が必要なことです。

スマートインターチェンジ設置の目的の1つに「救急医療施設へのアクセス性向上による救命率の向上」があり、完成により当院から岩手県高度救命救急センター(岩手医科大学)に重篤患者を搬送する時間が16分短縮されるとのことで救命率の向上が期待されています。

逆走にご注意を

